

創立30周年とこれから的地方会



日本小児歯科学会九州地方会 特別幹事 石谷徳人

九州地方会は九州5大学の先生方と九州・沖縄各県の地域でご活躍されている先生方が密に連携することにより、全国的にみても質の高い学術活動を行ってきたことは言うまでもありません。

私は鹿児島大学歯学部を卒業後、同校小児歯科に在籍し、小椋 正前教授、山崎要一教授のもとで小児歯科を学ばせて頂きました。その後、鹿児島市より東へ20キロほどに位置する姶良市で専門開業いたしました。慌ただしい日々の中で、気が付けば開業6年目を迎えておりました。このような地方で開業する私にとりましては、九州地方会での学術交流がこれまで以上に大切なものを感じるようになりました。

昨年、恩師である山崎要一日本小児歯科学会理事長から理事の職を拝命し、それに伴い地方会特別幹事に就任いたしました。もとより未熟者にして、これらの重責を担うのは器量不足ではございますが、本学会と地方会の発展のために頑張って参りたいと考えております。

日本小児歯科学会としては、国民に信頼される小児歯科医療の充実をはかることが最も重要な責務です。特に地域における小児歯科の医療格差を是正することが、早急に取組むべき課題の一つとされています。そのためには、全国各地で小児歯科を標榜されている一般開業の先生方はもちろん、次世代の小児歯科医を目指す若い先生方に本学会へ多数入会して頂くことが不可欠です。一般的に学会とは専門医ならびに専門医を目指す先生方のための学術団体と認識されがちですが、良質な小児歯科医療を提供しようと頑張っておられる地域の先生方や進路を模索している若い先生方にも参加しやすい環境を併せて整備することが必要ではないかと考えております。その最前線である地方会を通して、お互いの顔が見える学術交流を盛んに行い、直接的な人と人の繋がりを深めることがますます重要になるものと思います。

役員をさせて頂いて1年が過ぎましたが、様々な問題について自分の意見をお伝えできるようになるためにはもう少し修行が必要な様です。九州地方会の諸先輩の先生方が30年間に積み上げられてきたご功績を踏まえ、次の40周年、50周年を迎えるために私にできることとは何かを考えて参りたいと存じます。